

フジバカマの株分け作業にご協力いただき有難うございました。

新型コロナウイルスの影響で、昨年は実施できなかったフジバカマの株分けを2年ぶりに行いました。

昨年できなかったことで、今年フジバカマの生育が良かった中で、株分け作業をした畝の生育が見た目でも悪かったのが分かったと思います。

抜き取った株もかなり込み合った状態でしたので、株分け作業で隙間を開けて植えることができ、来年は元気に生育して良い花が咲いてくれるものと思います。



株分けした苗の移植作業の様子

2日間の作業に里親のみなさんを中心に延べ80人の方が参加していただき、予定した時間を大幅に短縮して終わることが出来ました。また、株を分けて欲しい方で作業にご協力いただいた方の中には、遠路木曾や諏訪から来た方もいらっしゃいました。

里親のみなさんには1年間草取り等でご苦労いただきましたが、今年は過去最高の飛来数になり、見学に訪れたみなさんに喜んで頂けたと思います。

アサギマダラの里での再捕獲の状況 (11月17日現在)

県内から	7	岐阜県	1	福島県	2	群馬県	10	山形県	1
石川県	1	山梨県	1					合計	26

・福島県からの飛来が例年より少なかったのも今年の特徴

アサギマダラの里からの再捕獲の状況 (11月17日現在)

県内へ	9	石川県	7	静岡県	8	愛知県	6	三重県	7
奈良県	1	滋賀県	1	京都府	3	和歌山県	1	兵庫県	7
岡山県	1	広島県	1	島根県	1	徳島県	3	高知県	4
愛媛県	1	鹿児島県	4	沖縄県	1			合計	67

- ・この内 奈良県、広島県、島根県の3県へは今回初めての移動です。
- ・県内の半分は北信への移動で、石川県、島根県、山口県への移動と、愛知県への移動が少ないのが、今年の特徴の日本海ルートの移動を示しています。
- ・再捕獲数も過去最高を更新中です。(今までは2018年の37頭が最高)

アサギマダラの里開設以来の大乱舞！

9月1日に初飛来を確認してからしばらく少なく推移しましたが、6日の午後から一気に大量のアサギマダラが飛来し、9月中は開設以来最高の乱舞を見せてくれました。

新型コロナウイルスの関係で大々的なPRが出来ませんでしたが、ネット情報を見て村内外、県外からも連日沢山の見学者に来ていただきました。

計画したサミットは、県内がコロナ警戒レベル5になった事から中止せざるを得ませんでしたが、フェスティバルは感染対策を取った上で開催しました。



アサギマダラフェスティバル マーキング講座

今年は、飛来数が多いだけでなく、マーキングしたアサギマ

ダラが南ではなく、宮田村より北の地で再捕獲されるなど珍現象が起きました。2年に1度くらいしか行っていない石川県の白山周辺へ7頭が行き、28日現在53頭の再捕獲の内12頭が宮田村より北での再捕獲です。

また、北上したアサギマダラが日本海側を移動し、そのまま島根県や山口県に行くコースと、京都府から瀬戸内海へ入り、広島県や山口県へ移動するコースと、四国へ渡るコースとに分かれ、昨年までほとんど再捕獲がなかったコースを辿っています。

ここにきてようやく太平洋側での再捕獲が増えてきましたが、昨年まで一番沢山の再捕獲がされた、愛知県ではまだ6頭しか再捕獲されていません。友好都市の田原市ではようやく1頭が伊良湖岬で再捕獲された状態です。

異常とも思える飛来数と言い、北よりのルートの移動と言い、アサギマダラの不思議さが一層増してきました。

県別再捕獲数 10月28日現在

県内	9	三重県	6	京都府	3	和歌山県	1	岡山県	1	島根県	1
石川県	7	静岡県	4	奈良県	1	徳島県	3	広島県	1		
愛知県	6	滋賀県	1	兵庫県	6	高知県	2	山口県	1	合計	53

フジバカマの株分け作業を行います。

今年は里親のみなさんにメイガの幼虫駆除を急遽お願いするなどの対策が功を奏した結果、人の背丈を超えるほどに生育し綺麗な花を咲かせてくれました。

刈り取りは、防風柵の撤去に合わせて10月14日に村で行いました。

株の掘り起こしと、移植については11月10日（水）掘り起こし、株分け。13日（土）移植作業を予定しています。移植の対象は東から2, 3, 4通り、5畝を考えています。

抜き取り作業 11月10日（水）午後1時30分から

重機で掘り起こし株分けをします。

持ち物 スコップ

移植作業 11月13日（土）午前9時から

鋤簾（鋤簾）等で穴を掘り株を植える。

持ち物 鋤簾（じょれん）など穴が掘れ、土を掛けられるもの。

里親のみなさんには毎年ご協力いただいていることに感謝申し上げるとともに、今年も是非ご協力いただきますようお願いいたします。

里親のみなさんには、13日（土）の移植作業にご協力いただければと思いますが、都合の悪い方は10日の抜き取り作業にご協力ください。

両日ご協力いただける方は大歓迎です。

10日、13日とともに、里親のみなさん以外でフジバカマの苗をご希望の方は作業にご協力いただければ株をお分けしますので、希望される方がいらっしゃいましたら声を掛けていただき、一緒に参加してもらってください。

ご協力をお願いします。

里親のみなさんへ緊急のお願い！

9月に入り、いよいよアサギマダラの飛来シーズンになりました。アサギネット上でも移動情報が少しですがアップされ始めました。早くアサギマダラの里でも初飛来が確認されることをワクワクしながら待っています。

アサギマダラの飛来を前に、里親のみなさんにご協力をお願いしたい問題が発生しました。

昨年フジバカマ開花後に、メイガの一種が花を食べて黒化し、後半はほぼ全滅状態になったことを記憶されている方も多いと思います。

今年も発生を心配していましたが、先週山際の畝の花にメイガの巣を見つけました。

その後少しずつ増えてきたので、昨年の二の舞を避けるため、薬効が一週間の殺虫剤を散布しました。

効果はまだ分かりませんが、里親のみなさんにお願いは、管理区域の花の状況を見ていただき、写真のような黒い塊が



開花した花の中に見つきましたらその下から切り取っていただき、展示小屋にポリ容器を用意しておきますので、その中に入れてください。村で一括焼却します。

アサギマダラ初飛来！



商工観光係 小松撮影

9月1日にアサギマダラの里へ初飛来が有りました。例年に比べるとかなり早い飛来です。

8月中旬に経験したことのない長雨により気温の低い日が続き、その後厳しい残暑になったので飛来時期が遅れるのではないかと予想していましたが、本日4頭の飛来を里親の菊地さんが確認して連絡していただきました。

新型コロナで憂うつな日が続きますが、少しでも気分転換が図れるように今年も沢山の飛来があればいいですね。

2021年

アサギマダラサミットの中止、フェスティバルの延期について

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で中止せざるを得なかったサミットですが、今年はいさ少し趣向を変えて、基調講演に本坊酒造(株)の本坊和人社長さんをお願いし、「蝶とウイスキービジネス」と題して講演いただく予定でした。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えず、長野県のレベル5も延長されることから、18日に計画していたサミットは中止せざるを得なくなりました。

本坊社長の講演は来年へ持ち越すことでお願いしました。

2年連続で中止せざるを得ないことになって大変残念ですが、来年こそはコロナ禍が治まって開催できる様祈るばかりです。

同日開催予定のフェスティバルは1週間延期して25日(土)に開催いたします。

当日は、写真撮影講座やマーキング体験講座などを予定しています。

詳細は後日、村ホームページなどでお知らせします。

役場 産業振興推進室 商工観光係

TEL 85-5864

宮田産アサギマダラが羽化しました。

7月4日と6日に蛹になったアサギマダラが、16日と18日に相次いで羽化しました。

羽化した2頭はいずれも雌蝶で、大きさは63mmと64mmと比較的大型で、世話をしていた里親の小松友香さんのマークを付けて宮田高原へ放蝶しました。

これから約2か月ほど涼しい高原で過ごし、9月になると里に下ってきて、アサギマダラの里などで吸蜜して南下の旅に出ますが、2頭とも雌なのでフジバカマの蜜を必要としない為、アサギマダラの里で再会するのは難しいかもしれません。



18日に羽化したアサギマダラ 📍

宮田高原の蝶と山野草観察会へのご案内

下界では連日猛暑日の暑さにへきえきしていますが、1650mの宮田高原は別世界です。そんな涼しいところでアサギマダラは避暑を決め込んでいます。

8月の宮田高原の蝶と山野草の観察会を下記により行います。

記

- 1 日時 8月9日(月) 10時～12時
- 2 集合 宮田高原 駐車場(入口奥)
- 3 講師 野草 伊藤一幸さん
蝶と蛾 井原道夫さん
マーキング 桜井正人さん



4 持ち物 雨具 飲み物 有れば補虫網

5 定員 20人 申込みは商工観光係まで 85-5864

夏休み中の小中学生の方は是非親子で参加しませんか！

6 解散後は是非宮田高原の青空の下でお昼を食べたい方は昼食を持参してください。

7 予約申し込みは、産業振興推進室 商工観光係まで TEL 85-5864

村産アサギマダラの幼虫が蛹になりました。

VOL56号でお知らせした、寺沢林道から連れてきて育てていた村産アサギマダラの幼虫二匹が7月に入って立て続けて蛹になりました。

まるで宝石です！

最初に孵化した方は、7月4日に蛹化しているのを見つけました。

幼虫から蛹に変態するときは蛹として吊下がる場所を探して活発に動きます。そのためネットで囲って逃げ出さないようにしていましたが、丁度土日重なったため蛹化したところを確認できませんでした。

二匹目は孵化が遅れた分蛹化も遅れて7月6日の夜に蛹になりました。この時は午後7時45分頃でしたが職員が残業で残っていたのと、商工観光係の小松さんと、



(灰色 → 幼虫 と 蛹 (白 ←))

みらい創造課の下平さん（共に里親）が、ビデオ録画に挑戦してくれていたもので、蛹化の瞬間をビデオに収めることが出来ました。村のホームページなどで閲覧できる様にしたいと思います。

蛹はこれから約20日ほどで成虫のアサギマダラになります。蛹の中では芋虫だった幼虫から、蝶の姿に劇的な変化を遂げます。一旦細胞がどろどろに溶けたようになり、やがて蝶の形態へと姿を整えていきます。その様子は「自然界で最も素晴らしく、神秘的な現象」と言われます。



二匹の蛹 右が先輩蛹
後輩蛹の方が威張って上に

蛹は25日頃に成虫になりますので、それまで役場ロビーで見られます。

アサギマダラの里で早めに抜き取りたい雑草2

訂正、前号で紹介した雑草の内「カナムグラ」の写真が「ヤブガラシ」の写真になっていました。里親で元神戸大学教授の伊藤一幸さんからご指摘をいただきました。今回から植物の欄は伊藤さんに書いていただけることになりました。

No.3 ヤブガラシ（藪枯らし）

前回の通信の「ハナムグラと書いてある写真」はヤブガラシでした。長野県に生えているヤブガラシはすべて3倍体のため、花は咲きませんが種子を付けません。5 cmほどの地下茎があればどんどん増殖するブドウ科の多年草です。

フジバカマと見分けにくいですが、茎は他の植物に巻き付くために柔らかく、春先は葉の先まで黒っぽい赤なので区別ができます。抜いてもすぐに地下の脇芽から出てくるので、なるべく深くから抜いてください。

この雑草はフェンスをよじ登るのが好きで、クズのように藪を枯らすくらい他の植物を覆ってしまいます。花の咲いている写真を見れば、この植物を知らない人はいないでしょう。

ヤブガラシには棘はありません。春先の太いツルは山菜としても食べられます。なお、No1のカナムグラはこの下の写真をご覧ください。アサギマダラの里の西側の草捨て場に生えている棘のある雑草です。これはホップの仲間で、雌雄異株の植物です。ウサギが好んで食べます。（伊藤一幸）



ヤブガラシの開花期



カナムグラの雄株の開花時



カナムグラ雌株の結実期

寺沢林道でアサギマダラの卵と幼虫を見つけました！

以前から宮田村の西山でアサギマダラが羽化しているのではないかと探していましたが、6月9日に寺沢林道の草刈り作業をしていた村造林班（村有林の管理をお願いしている）の田中勉班長が、目の前でアサギマダラがイケマに産卵しているところを目撃し、産み付けられていた卵を発見しました。

その日に連絡をいただき、村でもアサギマダラの卵であることを確認しました。自分も卵を見るの

は5年ぶりで、実際宮田村の寺沢林道で発見できたことに感激しました。卵の大きさは1mmほどの楕円形で透明感のある白色です。一本のイケマに1～3個の卵が産みつけられていて、寺沢のイケマの葉の裏に結構な数の卵が産みつけられていることが分かりました。

発見した田中さんは、アサギマダラの里の里親もしていただいております。寺沢林道沿いのヒヨドリソウも刈らずに丁寧に残していただくなど、アサギマダラの保護に協力いただいております。

約1週間後の15日には孵化している1令幼虫も確認しました。大きさは3mm程度でイケマの葉の裏側を1mmほどの円形にくり抜いてその中側を食べます。



3令幼虫 = 体長2cm 役場事務室にて



発見した卵 = 矢印の先 1枚に3つは珍しい

これは、1令幼虫がイケマの毒素（アルカロイド系）にまだ順応できていないために、食べる場所に毒素が入ってこないようにしていると考えられています。

孵化してから3週間ほどで蛹になり、その後3週間で成虫になり大空へはばたきます。

寺沢林道で卵を探すのは大変ですので、役場へ観察用に2卵もってきていますから、見たい方は役場ロビーへ見に来てみてください。

アサギマダラの里で早めに抜き取りたい雑草 1

N01 カナムグラ（鉄葎）

名前の由来は茎が強靱なところから付いたといわれ、道端や荒地などのいたるところに生えている、アサ科の一年草です。

芽が出たときはフジバカマの芽に似ているので、つい抜き残してしまう雑草の一つです。

気が付くとツルを伸ばしてあっという間に生い茂ってしまい、なかなか根から抜き取ることが出来ない厄介な奴です。また、茎や葉柄に刺毛がありこれで他の木などに絡みついで3～4mも伸びます。

この刺毛はかなり痛いので除草の際は気を付けてください。

雌雄異株のため花粉を大量に出す風媒花で「花粉症」の原因植物でもあります。



カナムグラ

N02 ワルナスビ（悪茄子）



荒地に生えるナス科の多年草で、名前の通り鋭いとげがあり軍手をしていても痛い思いをさせられます。

また、全草にソラニンというジャガイモの新芽に含まれるものと同じ毒をもっていて、家畜が食べると中毒死することもあるといわれます。

秋にミニトマトに似た実を付けますが決して食べない様にしてください。

最も悪い形質は繁殖力です。種でも根でも増え、特に地下茎はちぎれちぎれになった断片が再生し、かえって増えてしまいます。

土の中に眠る種子の寿命は100年以上とも言われ根絶は難しい雑草です。

(株)LIXILさんのご厚意でアサギマダラの里に水道を設置

アサギマダラの里のある一帯は、宮田村の西部で周辺に住宅がないことから上下水道が整備されていず、開設当時から「水」が大きな課題でした。

北側の林の中に農業用の水路があるので、少し遠いですが草かきなどを洗うことはできましたが、飲料用や、手洗いなどには不便をおかけしていました。

この度、(株)LIXILさんが会社内で使われている自家用井戸からの水をアサギマダラの里へ融通していただけることになり、先日引き込み工事を行いました。

アサギマダラの里へお出での際には飲料水や手洗いに使ってください。水道の蛇口は展示小屋のすぐ横に立ち上げてあります。

(株)LIXILさんに心から感謝いたします。



← の先の黒い棒が水道

出入口の交通安全対策としてカーブミラーを設置しました



アサギマダラの里の出入口付近の道路は緩やかにカーブしていて接近してくる車が見にくく、特に里から出られる方は苦労されて安全確認していたことと思います。

水道の引き込み工事に合わせて、道路の反対側に2面のカーブミラーを設置しました。見づらかった西側から来る車も今度はしっかり確認できるようにしましたが、引き続き出入りの際にはしっかり安全を確認していただきたいと思います。

※ 間もなく梅雨入りです。草が伸びますので管理をお願いします。

※ 6月のアサギマダラの里の蝶

アサギマダラの里にはアサギマダラ以外にも沢山の蝶がきます。今回はその中でも5月から6月の1か月ほどしか姿を見せない蝶を紹介します。

NO1 「ウスバシロチョウ（ウスバアゲハ）」

大きさはモンシロチョウほどの大きさですが、れっきとしたアゲハチョウ科の仲間です。

いまの時期に1か月ほどしか姿を見せない北方系の蝶で、半透明に近い白色で雌雄の違いがほとんど分かりません。

アゲハチョウとしては唯一卵で越冬し、蝶としては珍しく繭（まゆ）を作ります。

幼虫の食草は「ムラサキケマン」などで、日中にタンポポやハルジオンで吸蜜します。ほとんど止まらず飛行しているので、じっくり見るのは大変です。

アサギマダラの里では北側の林の近くで良く見かけます。



写真提供 菊地正敏氏

NO2 「ツマキチョウ」

5月の1か月ほどしか見られない「春の妖精」の名にふさわしい可憐な蝶です。

シロチョウ科に属し、シジミチョウほどの大きさで全体は白色で、オスは前翅の先にオレンジ色の斑点があり名前の由来となっています。この斑点で雌雄の判別が出来ます。飛び方は一定の高さを直線的に飛びます。

夏、秋、冬と蛹で過ごし春に羽化しますので、生涯のほとんどを蛹で過ごすことになり、中には2～3年蛹で過ごす個体もいるようです。

幼虫の食草は「タネツケバナ」などのアブラナ科の植物で、成虫は「オオイヌノフグリ」「ダイコン」の花などで吸蜜します。

アサギマダラの里では今年はまだ見られないと思います。



北上中のアサギマダラもほとんど見られなくなりました。これからは標高の高い宮田高原などで見られるので、レンゲツツジと一緒に見に行ってみてはいかがでしょうか。

北上アサギマダラが初飛来！

桜前線が例年になく早い北上をしたことから、北上をするアサギマダラも早くアサギマダラの里に飛来するのではないかと期待していましたが、5月9日に里親の菊地正敏さんが初飛来を確認し、写真を提供していただきました。

昨年もいつもより早く5月18日に初飛来を確認していますが、それよりも1週間ほど早い飛来となりました。

4月10日に里親現地説明会を開催した当時の情報では高知県まで来ていましたが、1か月で宮田村まで北上してきたこととなります。

全国的にも初見情報が寄せられていますが、驚いたのは4月29日に北海道函館市から初見情報が寄せられていることです。北上個体ではないかと報告されていますが、飼育していた個体を放蝶する方もいるので確定には難しいところですが、5月7日も確認情報が出されているので確率は高そうです。



今年最初に飛来した北上中のアサギマダラ 1



北上中のアサギマダラ 2

アサギマダラの里でも9日以降も毎日数頭が確認されていますので、5月中は北上中のアサギマダラを見ることが出来ます。

是非一度見に来てください。

その際、マーキングされているのが居たら写真に収めるか、マークをメモするなど記録を残してください。屋久島などでマークした蝶を見つけることが来るかもしれません。

フォトコン最優秀作品が、マルスウイスキー「駒ヶ岳アサギマダラの里2020」(シングルモルト)のラベルに採用されました。

昨年11月に行われた、アサギマダラの里フォトコンで最優秀作品となった池田裕助さん(宮田村)の作品「秋分に舞う」が、本坊酒造(本社鹿児島県)マルス信州蒸留所から発売された「駒ヶ岳アサギマダラの里2020」のラベルとして採用されました。先日行われた中央アルプス国立公園記念フォーラムの席上で本坊社長から発表があり、5日に贈呈式が行われました。



池田裕助氏とアサギマダラの里2020

今回のアサギマダラの里2020は、1000本が商品化され、大空を舞うアサギマダラをイメージしてバーボン樽とアメリカンホワイトオーク樽に眠る原酒をヴァレティングしたダブルカスクシングルモルトウイスキーです。

国際的にも評価の高いマルスウイスキーのボトルラベルに採用されることは大変名誉なことですが、今年度のフォトコン最優秀作品をラベルとして採用していただけることがすでに決まっていますので、是非多くの方々に応募していただきたいと思っています。

本年度の里親現地説明会と作業が行われました



里親のみなさんの作業風景

4月10日(土)に本年度の里親現地説明会が、30人を超える多くの里親のみなさんに参加していただき開催されました。

今年は新たに8組の里親の方が交代され、村外では飯田市と松川町から初めて里親の方が加わっていただき、里親の輪も郡外へと広がってきました。

今年も暖冬の影響で3月になって雑草が伸び始めたので、すでに里親みなさんの中には何回か草取りをしていただいた方もいらっしゃると思います。これから暑くなると作業も大変ですがよろしく願います。

役場 産業振興推進室 商工観光係
TEL 85-5864

いよいよ春本番です

昨年に続き、今年も例年よりかなり早く桜が咲き始めました。

暖かい気候に誘われて、場所によってはフジバカマの新芽も顔を出してきています。一方、昨年盛土をした畝は新たに10cmほど耕土が乗せてありますので、新芽が地表に出てくるまでには少し時間がかかると思います。

前号でもお知らせしましたが、ナズナなどの雑草も勢いを増してはびこって

宮田村の北の城跡で開花した桜

ているところも目立ちます。雑草と新芽が混植しているところは、中に入って作業ができないので、周りから注意をしながら除草してください。

昨年9月、フジバカマの開花時に大発生した「トウホクヤマメイガ」のその後も気になります。生態がよくわからないので、現在どのような状態で越冬しているのか不明ですが、アサギマダラの飛来時に影響が出ないようにしながら、対策を講じていきたいと考えています。

新年度の里親説明会及び作業を行います

今年も何人かの里親の方が入れ替わりました。新しく参加されるみなさんと一緒にフジバカマの世話をさせていただくこととなります。つきましては下記により説明会と作業を行いますので、ご協力をお願いします。



日 時 4月10日(土) 9時～

約1時間程度

場 所 アサギマダラの里

持ち物 草かき 箕(ミ)等

発芽したフジバカマの新芽  の先 2cmほどに伸びています。

役場 産業振興推進室 商工観光係

TEL 85-5864

日に日に日差しが濃くなり、気持ち.float.floatする季節になりました。

今シーズンは年末から寒波で、昨シーズンは一度も降らなかった雪が何回か降りました。寒い日も続きましたが、3月に入りフジバカマの畝にも雑草が目につくようになってきました。

2月下旬には季節外れの暖かい日が続いた事で、雑草の生育も進んでいて、なずなやはこべがびっしり覆っているところも有ります。

早めに一度除草をしていただくと後々楽になると思います。

昨年の11月に盛土をした畝はしばらくは草が生えませんが、水田の耕土で栄養豊富なので、そのうちしっかり生えてきます。注意して見ていてください。



現在のアサギマダラの里

里親を追加募集します！

本年も里親のみなさんにはお世話になりますがよろしくお願ひします。

昨年までお世話になった里親の中で、数名の方が本年里親を退任されました。今年度から新たに里親としてご協力いただける方を**数名募集**します。先着順で

すので、お知り合ひで希望される方（団体でもOK）がいましたら、商工観光係まで紹介してください。



昨年の説明会後の作業状況

里親説明会及び作業

新年度の里親説明会と作業を4月10日（土）午前中に予定しています。詳細は次回の里親通信でお知らせします。

役場 産業振興推進室 商工観光係
TEL 85-5864

里親のみなさんには清々しい新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。今年もよろしくお願いたします。

昨年から続く新型コロナウイルスの感染拡大で、心からおめでとうございますと言えない辛さがある年明けです。

里親のみなさんにアサギマダラの里の近況をお知らせしてきました「里親通信」も2015年6月の1号から今号で50号を迎えることになりました。これも里親のみなさんが熱心にフジバカマの世話をし、アサギマダラを呼び続けていただいた賜物と感謝いたします。

アサギマダラの里がスタートした2014年の時は面積350㎡ 株数1600株 里親21人でした。現在は面積750㎡ 株数3900株 里親のみなさんは66人までになっています。

面積的にはこれ以上増やすのは難しいと考えています。また季節的にもアサギマダラは1か月と短いので、周辺の里山環境を活かして、春から秋まで蝶を楽しめる里にできればと考えています。



今年1年、里親のみなさんにはお世話になりますがよろしくお願いたします。

なお、現在66人の里親登録をいただけていますが、管理が出来ていないところもありましたので、体調や都合で今後里親を続けるのが難しい方は商工観光係までお知らせください。

2020年度 マーキング結果

2020 宮田村 「アサギマダラの里」で捕獲された蝶

NO	捕獲日	放蝶地	移動距離	マーク	放蝶日	捕獲者
1	9/18	群馬県 片品村	174km	マル 8/26 ノリ 3444	8/26	加藤 清人
2	9/21	福島県北塩原村	295km	デコ 8/2 3SRY 569	8/23	加藤 清人
3	9/21	群馬県 片品村	174km	マル 8/26 ノリ 2387	8/26	加藤 清人
4	9/21	山梨県 鳴沢村	80km	FUJI 8/22 JET 1382	8/22	平沢 正典
5	9/21	長野県 立科町	57km	TAT 8/9 JTE 404	8/9	平沢 正典
6	9/21	長野県 大町市	94km	NP 9/19 AKA 159	9/19	平沢 正典
7	9/21	群馬県中之条町	125km	ノゾリ 8/11 mit234	8/11	平沢 正典
8	9/22	不明		ヤマ 9/6 ヤマ2	9/22	加藤 清人
9	9/22	長野県 松本市	57km	UTU 9/15 JET 1748	9/22	加藤 清人
10	9/28	群馬県中之条町	117km	カラク 9・16 mit586	9/28	吉江 誠
11	9/29	長野県 高山村	109km	HHI 8・10 OGU 129	8/10	hirokazu

2020 宮田村 「アサギマダラの里」から放蝶され再捕獲された蝶

NO	再捕獲日	再捕獲地	移動距離	再捕獲者	放蝶日	放蝶者
1	9/22	長野県 飯田市 上里黒田	24km	筒井 義則	9/22	不明
2	10/3	京都府 綾部市 戸奈綾瀬	254km	林 賀壽美	9/17	平沢 正典
3	10/11	愛知県 西尾市 平原町	123km	大河 正博	9/17	平沢 正典
4	10/14	愛知県 蒲郡市 柏原町	118km	宇野 弘子	9/26	宮島あづみ
5	10/14	兵庫県 宝塚市 弥生町	256km	渡辺 康之	9/30	平沢 正典
6	10/14	兵庫県 宝塚市 弥生町	256km	渡辺 康之	9/26	西尾 邦彦
7	10/15	大分県 姫島村 金	614km	大海 範男	9/22	加藤 清人
8	10/17	鹿児島県喜界町滝川林道	1,113km	福島 誠	9/21	佐藤 陽真
9	10/20	徳島県 阿南町 内原町	364km	米山 喜義	9/20	吉江 誠
10	10/26	愛知県 田原市 衣笠山	134km	加藤 憲治	9/22	高橋 悠
11	11/1	静岡県 浜松市 北区	108km	峰野 敏男	9/19	矢田 懂子

4番、6番は代理マーキングサービスの申込者
代理でのもう1頭は泰阜村から放蝶したものです